

【証券コード：6728】

2015年度 第3四半期（累計） （2015年7月～2016年3月） 決算説明資料

2016年5月13日
株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q（累計）： 第3四半期連結累計期間

3Q： 第3四半期連結会計期間

年度： 当社会計年度（15年度：15/7～16/6）

市場環境のポイント

- パネル供給過剰による価格下落が続くも、中国パネルメーカーを中心に大型TV向けパネルの投資（a-Si）が継続。
- 有機EL（OLED）投資に向けた動きが日本・中国・韓国・台湾のパネルメーカーで活発化。
- 半導体メモリ需要は底堅い動きを見せており、半導体メーカーの3D-NAND、不揮発性メモリやパッケージングなど新プロセス向け投資は引き続き堅調。
- スマートフォンの高機能化・薄型化に向けた動きは継続するも、販売台数の伸びが低下しているため、電子部品メーカーの投資は総じて慎重。

2015年度第3四半期（累計）連結業績概要

2015年度3Q（累計） 連結業績概要

2015年度連結業績予想

- 売上高：前年同期比217億円増。FPD製造装置の増加が大きく寄与。
- 営業利益：前年同期比88億円増。売上高の増加に加え、継続的な製造コスト削減努力や、特に3Qについては比較的収益性の高い案件（半導体及び電子部品製造装置等）が集中したことが寄与。

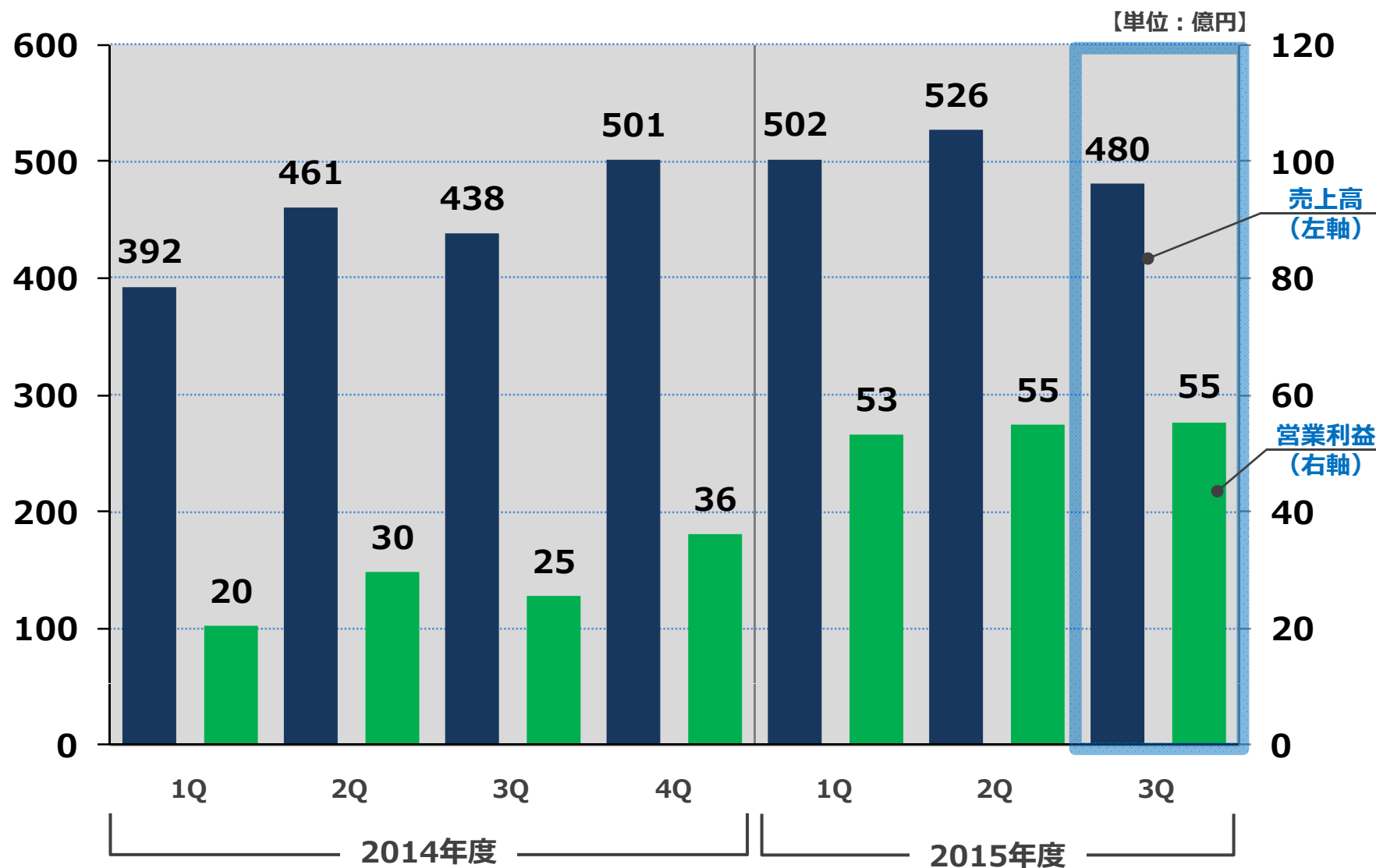
【単位：億円】

	（参考）2014年度		前回通期 修正予想*	2015年度	
	3Q（累計） 実績	通期 実績		3Q（累計） 実績	対前年同期 増減率
受注高	1,238	1,827	2,060	1,751	41.5%
売上高	1,291	1,792	1,930	1,508	16.8%
売上総利益	317	435	-	403	27.0%
率	24.6%	24.3%	-	26.7%	+ 2.2 pt
販管費	242	323	-	240	-0.9%
営業利益	75	111	160	163	116.9%
率	5.8%	6.2%	8.3%	10.8%	+ 5.0 pt
経常利益	87	125	150	165	89.8%
率	6.7%	7.0%	7.8%	10.9%	+ 4.2 pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	62	89	115	118	91.6%
率	4.8%	5.0%	6.0%	7.8%	+ 3.1 pt

*：2016年2月12日公表値

2015年度3Q（累計）連結業績概要 （売上高と営業利益の推移）

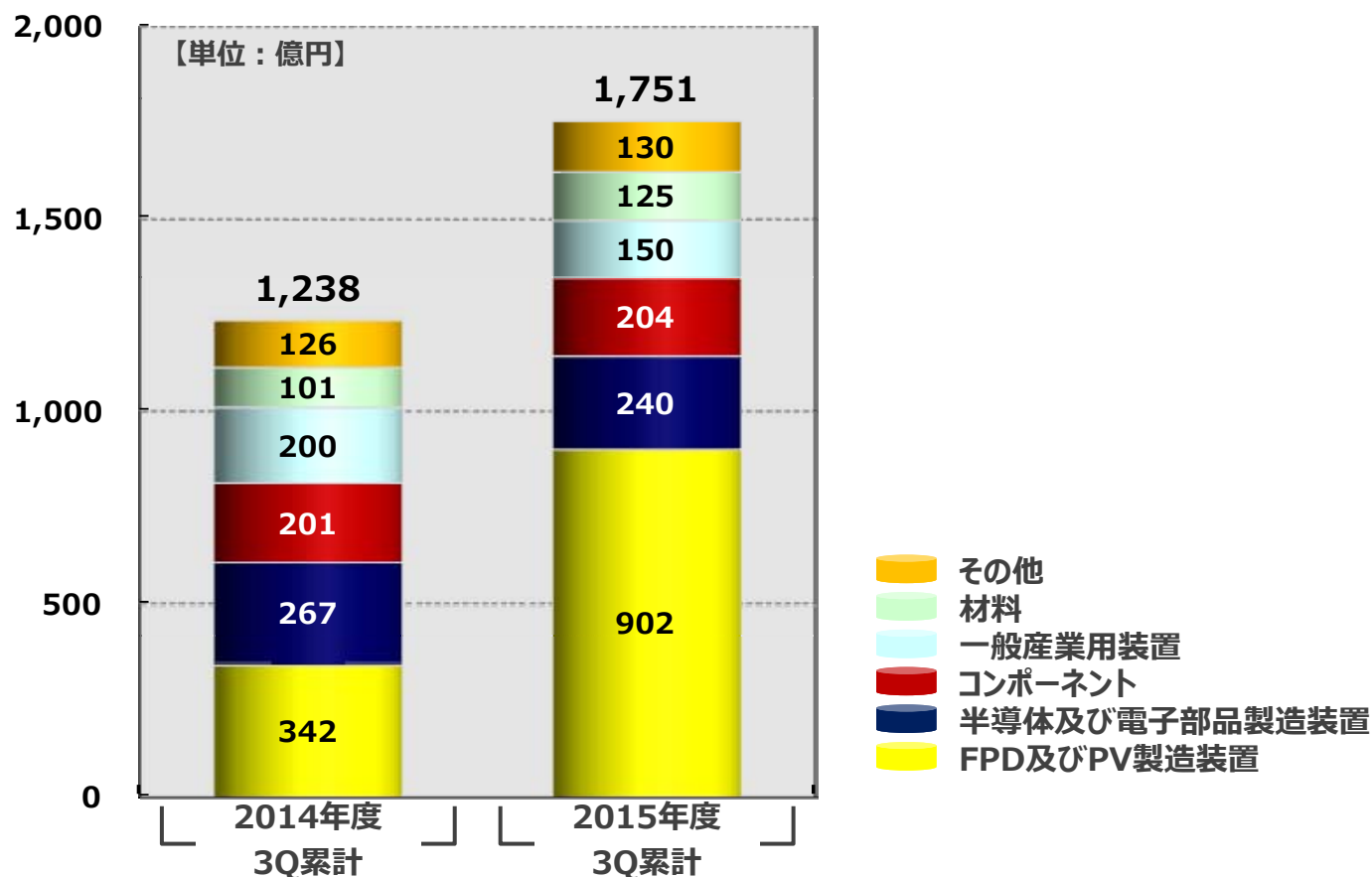
2015年度連結業績予想



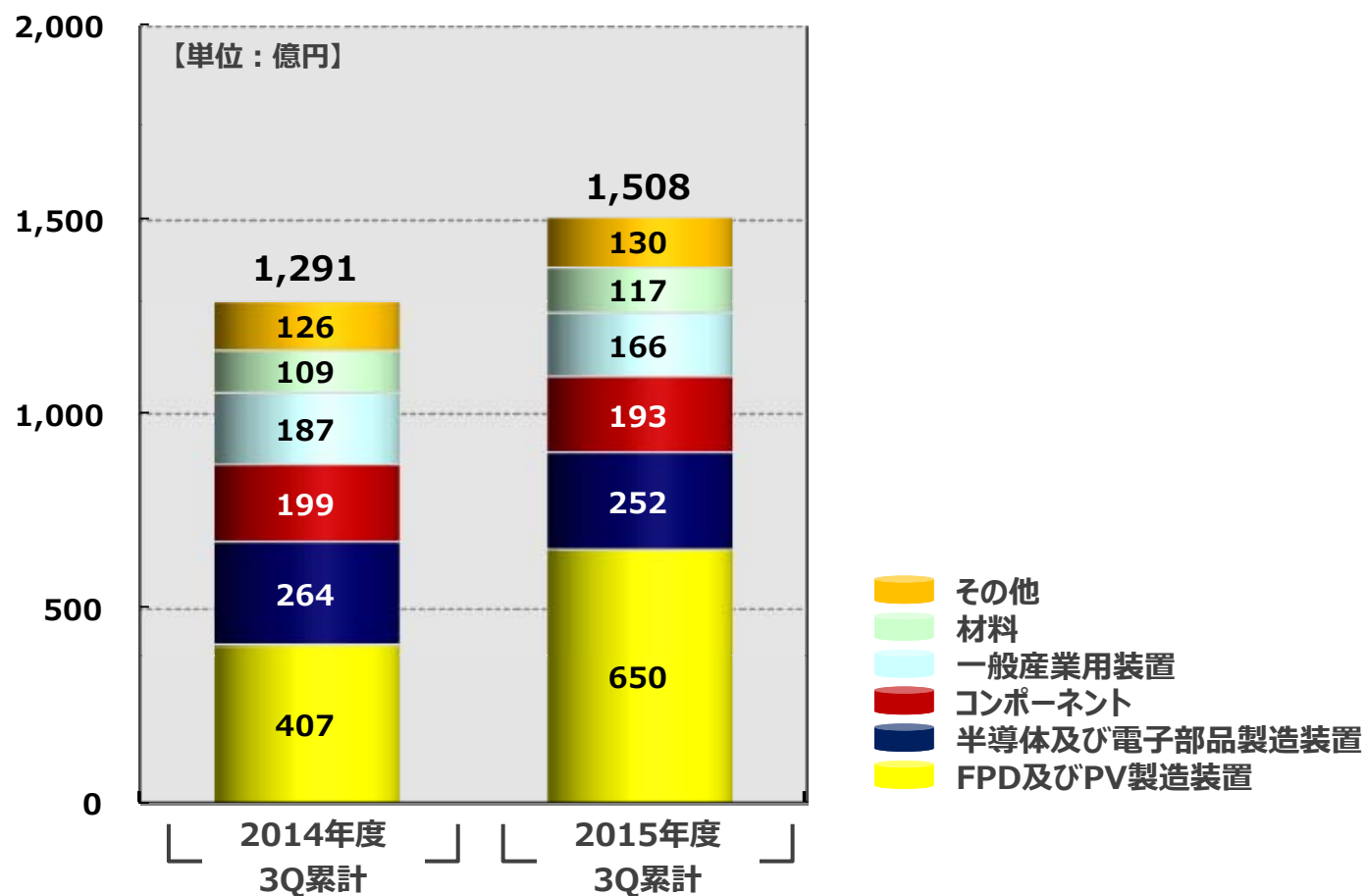
2015年度3Q（累計）連結業績概要 （品目別受注高実績）

2015年度連結業績予想

- FPD製造装置は、大型TV向け投資の前倒し等により、全体で前年同期比では42%増加。
- 半導体及び電子部品製造装置は、スマートフォン販売台数の伸びの低下に伴う設備投資減少の影響もあり、前年同期比で一時的に減少するも、今後は、3D-NANDや不揮発性メモリ、高密度実装などの分野で貢献できるフィールドが拡大する見通し。

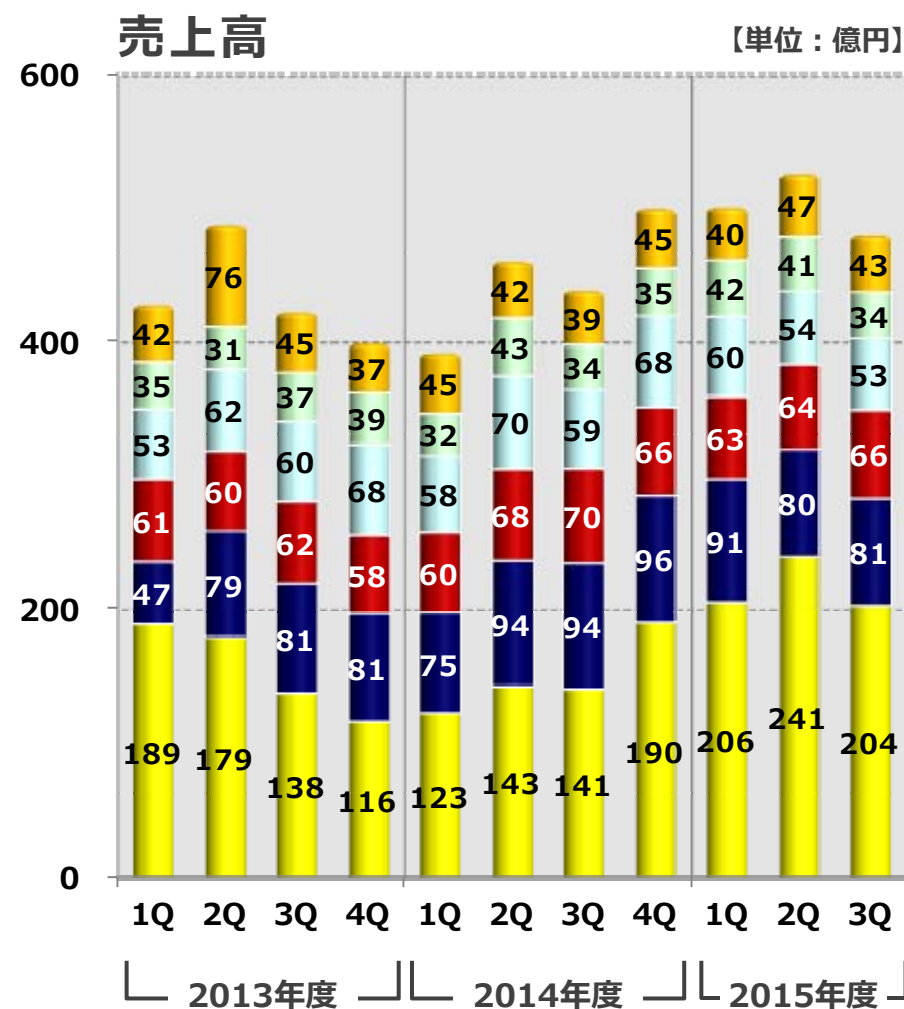
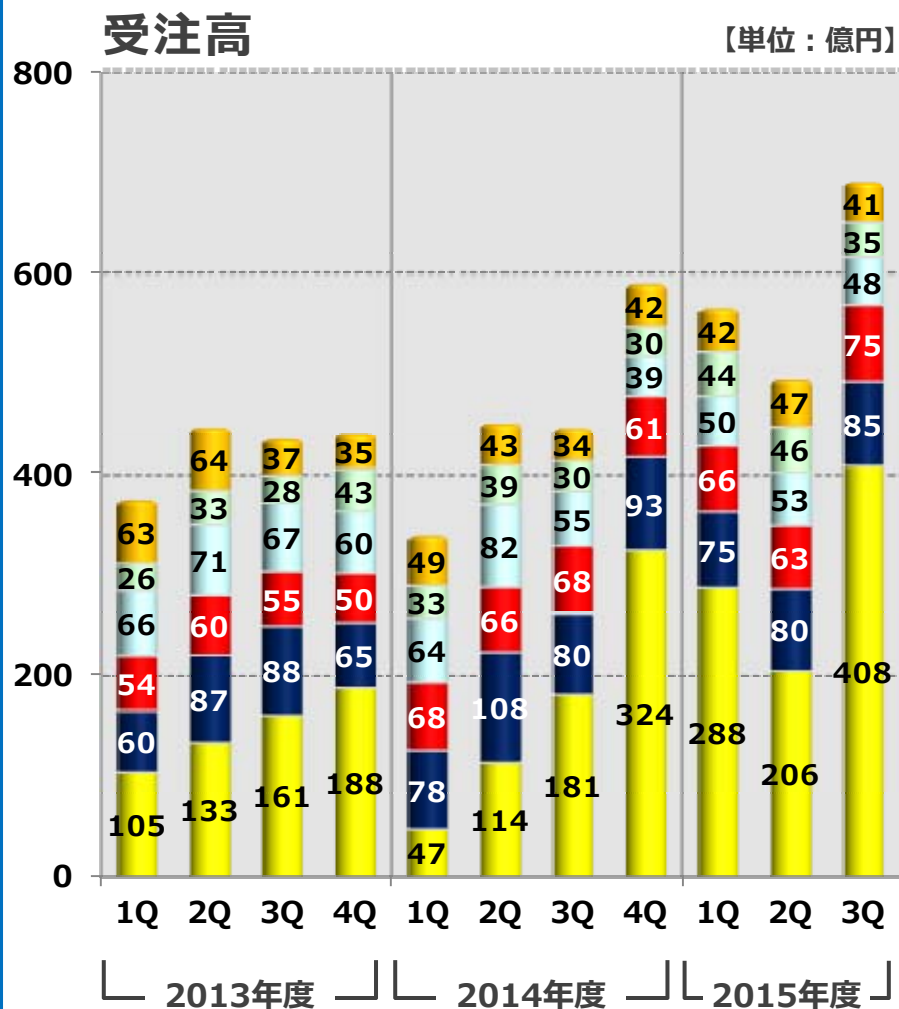


FPD製造装置の増加等により前年同期比17%増加。



2015年度3Q（累計）連結業績概要 （品目別受注高・売上高の推移）

2015年度連結業績予想

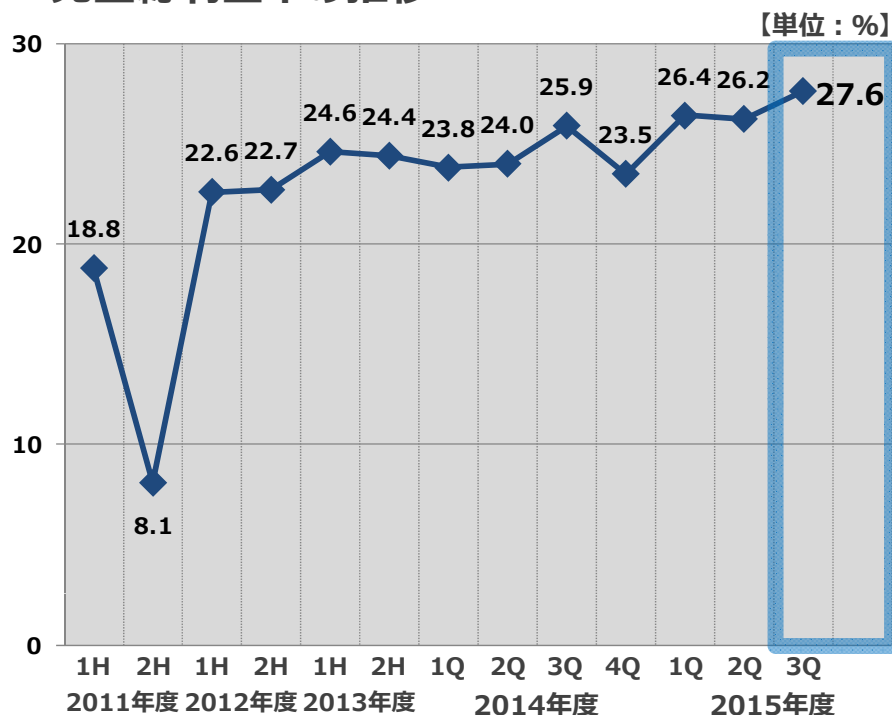


2015年度3Q（累計）連結業績概要 （利益率の推移）

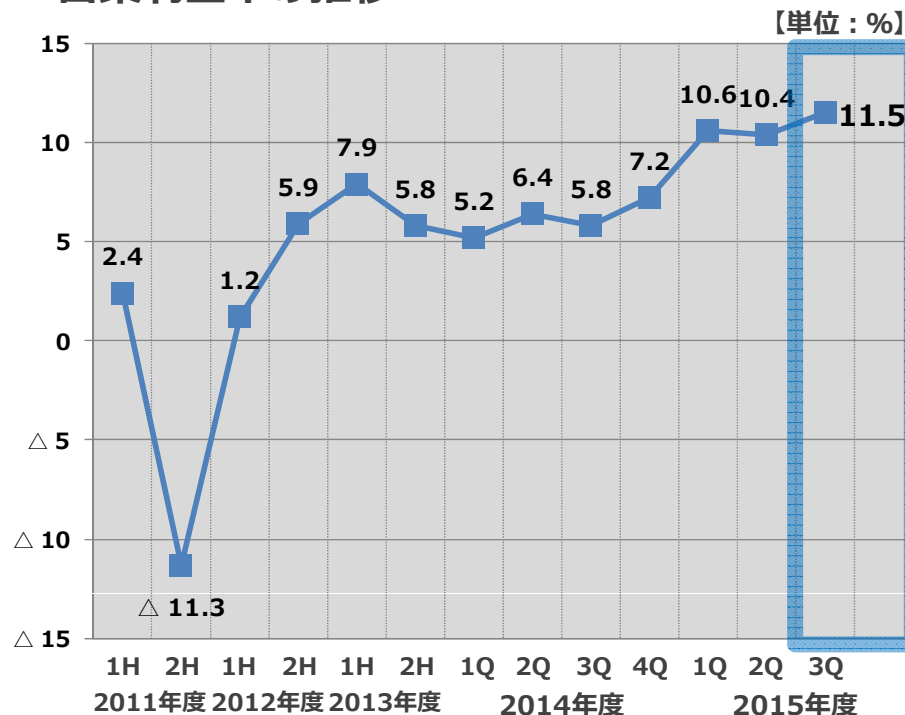
2015年度連結業績予想

3Qは、売上総利益率、営業利益率ともに上昇。
収益性の高い案件（半導体及び電子部品製造装置等）が集中したことや継続的な製造コスト削減努力が寄与。

売上総利益率の推移



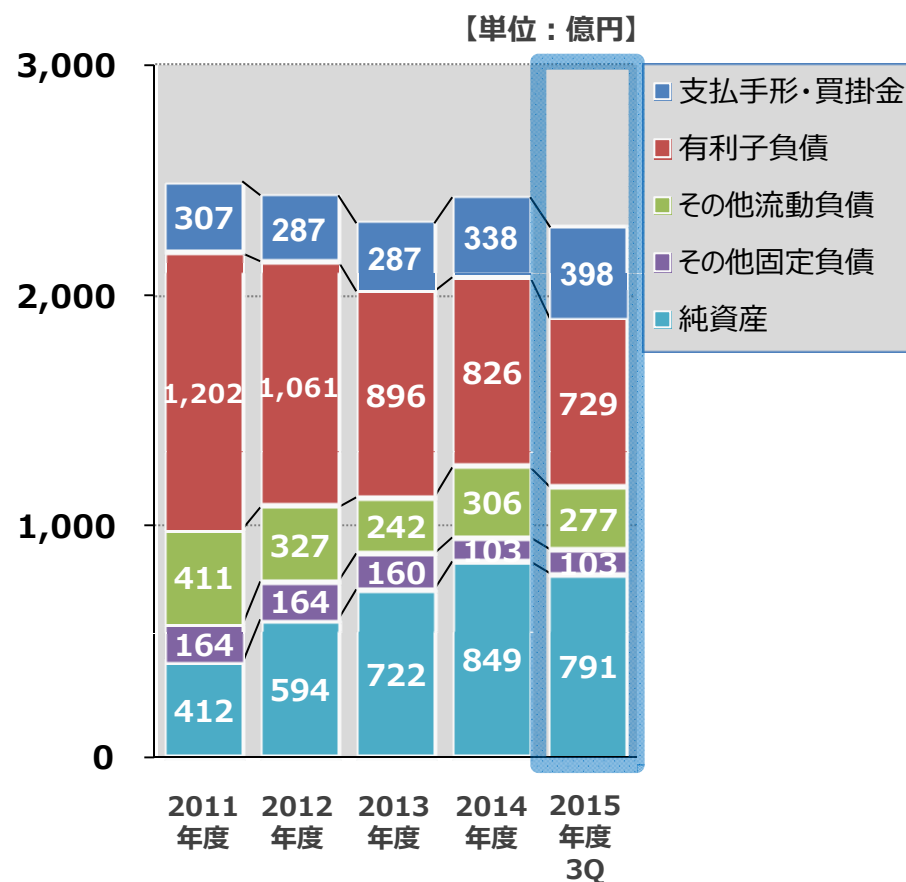
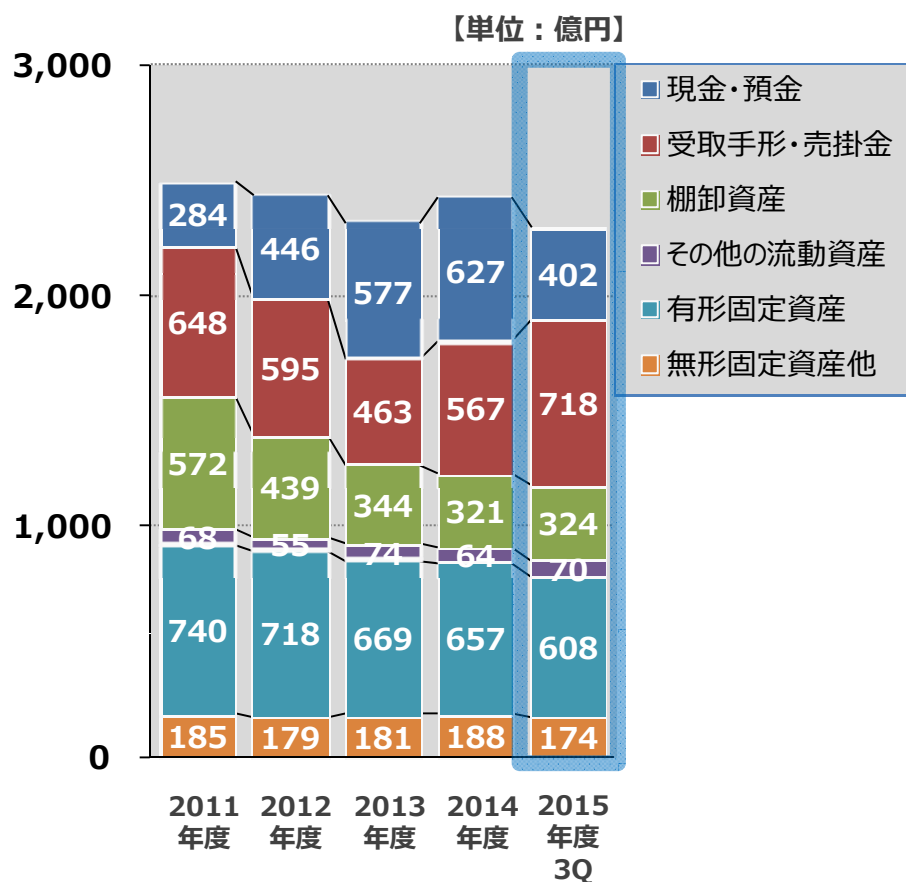
営業利益率の推移



2015年度3Q（累計）連結業績概要 （連結貸借対照表）

2015年度連結業績予想

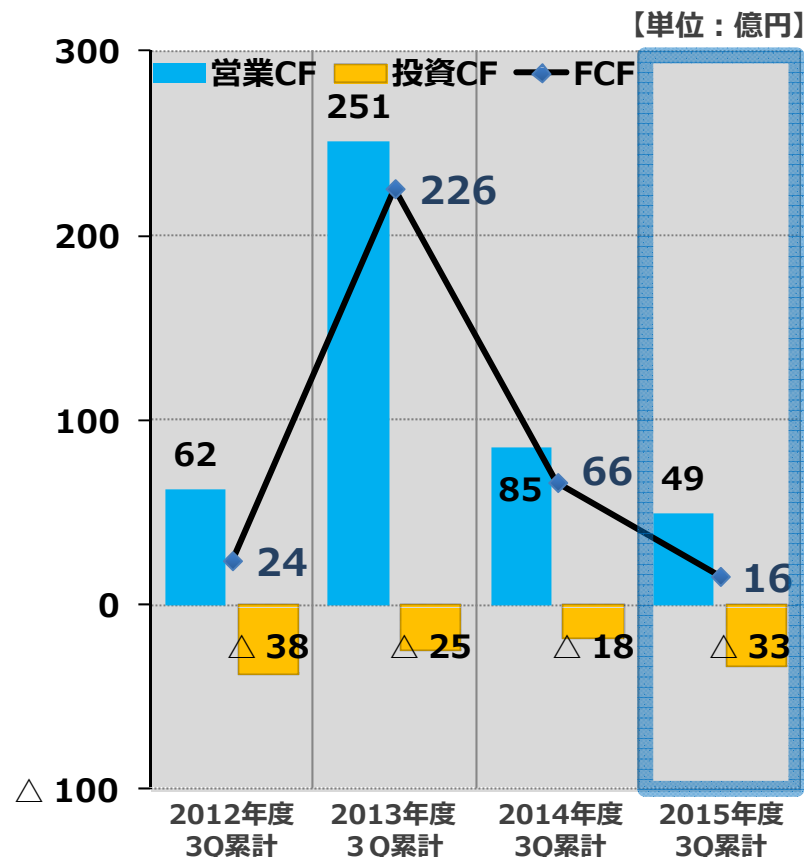
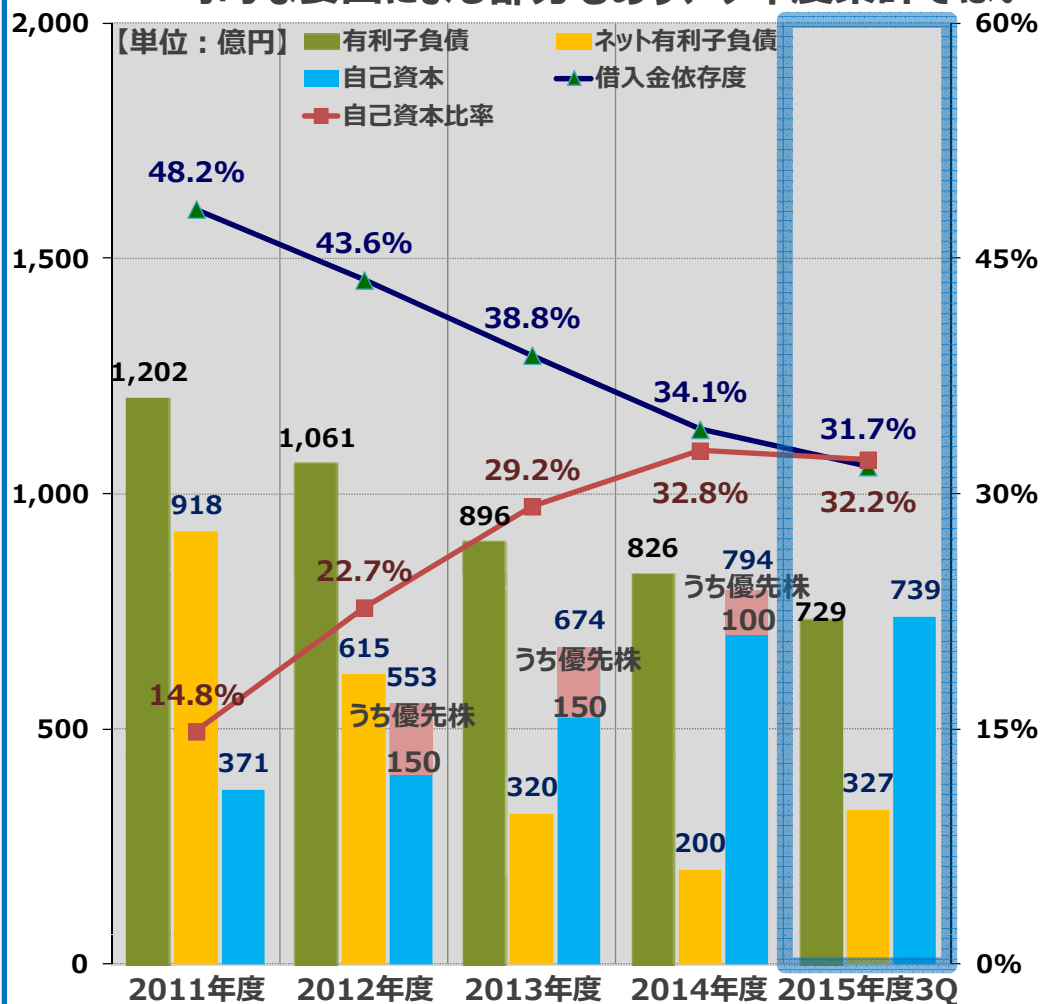
- 売上高増加及び一時的な収支のずれにより売掛金が増加しているが、4Qには圧縮できる見通し。
- 有利子負債は、削減の取り組みを進め、14年度末比98億円減少。



2015年度3Q（累計）連結業績概要 （有利子負債の推移とキャッシュフロー）

2015年度連結業績予想

優先株全額償還後も自己資本比率は32.2%を維持、借入金依存度は31.7%に改善。
 売掛金の増加に伴い、運転資金負担が増加。営業CFは49億円、FCFは16億円にとどまったが、
 一時的な要因による部分もあり、今年度累計ではいずれも3Q累計比増加する見込み。



2015年度連結業績予想

3Qにおいて、売上高は想定比やや強含みで推移。また利益面についても、比較的収益性の高い案件（半導体及び電子部品製造装置等）が集中したことや継続的な製造コスト削減努力、さらには売上高効果も加わり、各利益項目とも想定比高めで推移。こうした実績を踏まえ、売上高・利益とも前回の通期連結業績予想数値を上方修正（なお、4Qについては、3Q対比、売上高の減少、収益性の高い案件の減少、研究開発費等固定費の増加を見込んでおり、これらを前提とした予想としている）。

受注高は、FPD製造装置において、大型TV向け投資の前倒しに加え、スマートフォン向け有機EL（OLED）投資に向けた動きが活発化したことから上方修正。 【単位：億円】

	3Q累計 実績	通期		今回予想
		当初予想*1	前回予想*2	
受注高	1,751	1,900	2,060	2,180
売上高	1,508	1,900	1,930	1,940
営業利益	163	135	160	185
率	10.8%	7.1%	8.3%	9.5%
経常利益	165	125	150	185
率	10.9%	6.6%	7.8%	9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	118	95	115	145
率	7.8%	5.0%	6.0%	7.5%

*1：2015年8月公表値

*2：2016年2月12日公表値

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC